

山形保険医新聞

Yamagata medical practitioners newspaper

発行
山形県保険医協会
〒990-0043 山形市本町二丁目1の2フコク生命ビル
電話 023 (642) 2838
FAX 023 (642) 2839

購読料 年共1ヵ月 500円
印刷 コロニー印刷

第541号

12月号 TOPICS

- 2面…医療研究フォーラム演題発表
- 3面…年末年始診療報酬の取扱い
- 4面・5面…定期総会協賛広告
- 6面…資格確認の取扱いとレセプト請求
- 7面…つるさんのお店探訪
- 8面…気になるワインの話

第49回定期総会 5年ぶりに市民公開講演開催

協会は11月16日、山形市の大手門パルズで第49回定期総会を開催した。開会にあたり挨拶に立った中島幸裕理事長は、「今年は元日の能登半島地震から始まり、災害時の医療体制について考えさせられた。実質マイナス改定だった6月の診療報酬改定、12月に予定されている現行の健康保険証の新規発行終了など、課題は山積している」と述べた。全国的には会員数が減少する中、新規開業医への訪問、Webによる研修や講演、保健所の立入検査や個別指導対策、勤務医の先生への働きかけにより、6年連続過去最高の会員数を更新したことに触れ、「今後も役員一丸となって、会員の先生のお力をお借りしながら、会員増に取り組みんでいく」と締めくくった。

活動報告と方針
第1号議案では、鈴木康洋副理事長が23年度の活動の特徴と24年度の活動方針を提案し全会一致で承認された。

「保険証廃止の中止の取り組み」では、会員の先生方の協力のもと数多く寄せられた署名を国会に提出した。また「子ども医療費助成」は、昨年協会で実施した子ども医療費助成状況調査の結果が、NHKニュースと山形新聞などで報道された。今年4月からは県内全ての市町村で、入院・外来とも18歳までの助成に引き上げられ、長年の協会の取り組みが実を結んだ。

「電気料金等の高騰に伴う医療機関への支援を求める取り組み」では、県内の全自治体に対し、医療機関への財政措置実施を要望。県では、病院・有床診療所に対し、「令和6年度山形県入院時食事療養費支援事業」が実施された。

そのほか、生活保護の医療要否意見書提出時の医療機関の負担軽減について県内全自治体に対し、要望書を提出。自治体担当者からの反響も大きく、山形市と鶴岡市で、令和6年度から医療機関の負担なしとなった。県からは、電子メールでの意見書送付も可能とするなど、医療機関の負担を軽減するよう、県内の総合支庁で対応したいとの回答も得た。

決算と予算
23年度決算報告、小川裕

「電気が料金の高騰に伴う医療機関への支援を求める取り組み」では、県内の全自治体に対し、医療機関への財政措置実施を要望。県では、病院・有床診療所に対し、「令和6年度山形県入院時食事療養費支援事業」が実施された。

そのほか、生活保護の医療要否意見書提出時の医療機関の負担軽減について県内全自治体に対し、要望書を提出。自治体担当者からの反響も大きく、山形市と鶴岡市で、令和6年度から医療機関の負担なしとなった。県からは、電子メールでの意見書送付も可能とするなど、医療機関の負担を軽減するよう、県内の総合支庁で対応したいとの回答も得た。

新役員選出
今年2年に一度の役員改選が行われ、21名の役員が再任された(一覽参照)。

田中雄二理事より、「いちと健康を守り、患者にとつてより良い医療を提供できる社会の実現を求める決議」が提案され、拍手で決議が採択された。

市民公開講演「紅麹問題を考える」蔓延する「機能性」幻想に要注意
今回は、コロナ禍により中止していた市民に公開しての講演を5年ぶりに開催。群馬大学名誉教授の高橋久仁子先生による講演を、会員、来賓、市民80名が聴講した。(講演の詳細は次号に掲載予定)

懇親会開催
続いて、懇親会も5年ぶりに開催した。芳賀道也参



第49回定期総会



市民公開講演



あいさつを述べる芳賀道也参議院議員



生演奏に耳を傾け懇親を深めた

第49回定期総会で選出された新役員

■理事長
中島 幸裕 (内科 山形市 再)

■副理事長
齋藤 克之 (泌尿器科 米沢市 再)
鈴木 康洋 (内科 村山市 再)
豊田 博巳 (歯科 山形市 再)

■理事
加藤 克彦 (歯科 山形市 再)
國井兵太郎 (産婦人科 寒河江市 再)
佐藤 誠 (歯科 酒田市 再)
三條 敏邦 (胃腸科 山形市 再)
庄司 裕克 (歯科 山形市 再)
鈴木 光典 (整形外科 山形市 再)
田中 雄二 (内科・外科 米沢市 再)
二瓶 邦信 (内科 山形市 再)
橋本 雅仁 (歯科 山形市 再)
長谷川和康 (内科 山形市 再)
古沢 信之 (精神科 山形市 再)
堀米 亨 (泌尿器科 山形市 再)
本間 修 (外科 酒田市 再)
山田 修久 (外・内・脳外科 山形市 再)

■監事
小川 裕 (内科 山形市 再)
吉村 信幸 (肛門外科 山形市 再)

■地区担当理事
姉崎 功 (外科 真室川町 再)
(以上 任期2年)



つばさ
も人類は戦うのが好きなのだなと思う。MLBでは大谷さんのド

それにして
ジャースが優勝して戦いが終わったが、日本では自公連立政権が議席の半数を取らず、首班を巡って、選挙が終わっても戦っている。米国でもトランプ、ハリスの熾烈な戦いが行われ、公式な決着がつく前早々に勝利宣言したトランプ氏が次期大統領に決まった。

スポーツや選挙のような平和的な戦いは良いが、武器を取っての殺し合いはいい加減やめてほしいものだ。多くの戦争当事国の指導者達は、権力を独り占めにできるように法制度を変え、自分たちの都合の良いようにしているように思える。そして中には敵国だけでなく自国の国民であつても、迫害、弾圧しているのが普通のようなのである。愛しているのは自分だけで、自分以外の人間を本当の意味で愛しているようには思えない。自分の身内であつても弾圧、迫害する例もよく見られる。人が人を殺すこととがもっと平然と大規模に行われる世界が近未来に待ち構えているのだろうか？人が人をもっと愛し、慈しむ世界を築かなければいけない。宗教Religionという言葉は、自分が自分と、自分が他人と、自分と神が本当の意味で結ばれ直すという意味だそう。愛する事を取り戻した世界にもっと愛を取り戻したいものだ。(Y)